

外傷サーベイランス委員会会議録

会議体の名称	第3回外傷サーベイランス委員会
事務局(担当課)	セーフコミュニティ担当課
開催日時	2011年9月16日(金) 13時30分～15時00分
開催場所	議員協議会室
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医師会のサーベイランスについて 2. 学校・保育園のサーベイランスについて 3. 救急搬送データ2010の分析について 4. その他
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 豊島区池袋保健所所長 村主千明 委員長 2. 豊島区セーフコミュニティ推進協議会専門委員 衛藤 隆 3. 豊島区セーフコミュニティ推進協議会専門委員 石附 弘 4. 豊島区セーフコミュニティ推進協議会専門委員 市川 正雄 5. 豊島区医師会理事 高橋 清輝 6. 東京都消防庁豊島消防署救急技術担当係長 古木 康友 7. 東京都消防庁池袋消防署救急技術担当係長 來次 良弘 8. 豊島区政策経営部長 吉川 彰宏 9. 豊島区セーフコミュニティ担当課長、防災課、健康推進課、長崎健康相談所
提出資料	<p>資料1 豊島区外傷発生調査 調査票(初診時)</p> <p>資料2 保育園 事故発生状況報告書</p> <p>資料3 指標4について</p> <p>資料4 救急搬送データを活用したアウトカム指標の確認について</p> <p>資料5 22年救急搬送データ</p> <p>資料6 学校の管理下における外傷サーベイランス</p>
議事要旨	<p>要旨</p> <p>■豊島区外傷発生調査 調査票</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊島区医師会では、災害対策を強化するため、日ごろから外傷(事故やケガ)の発生状況を調査し、災害対策の強化に資する研究活動に生かしたいと考えている。 ・安全で安心な豊島区を実現するため、患者には以下の質問にお答えいただく。 ・本人が記入できない場合は付き添いの方が記入しても構わない。 <p>■保育園の事故発生状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園で調査票を作成し、外傷に関する状況を調査した。ごらんのようになっている。

- ・ 今後もさらに分析していく。

■救急搬送データを活用したアウトカム指標の確認

○一人暮らし高齢者の見守りで活用

- ・ 対象は 65 歳以上の高齢者。
- ・ 指標は、転倒、転落・滑落により中等症以上の骨折や打撲・血腫・挫傷した人口 1 万人あたりの高齢者の割合

○子どものけが予防で活用

- ・ 対象は、乳幼児
- ・ 指標は、住宅屋内におけるけがにより救急搬送された乳幼児の人口 1 万人あたりの割合
- ・ ほとんどが、軽傷程度であるため、データとして不安定である可能性が考えられる。

○自転車利用の安全

- ・ 対象は、豊島区で自転車を利用する人
- ・ 指標は、自転車乗車中における中等症以上のけがにより救急搬送された人口 1 万人あたりの割合
- ・ 救急搬送データからは、自転車利用者が受傷した割合しか把握できず、自転車利用者が加害者（原因）となって相手にけがをさせたしまったというようなことは把握することはできない。

以上